

南箕輪村 地域公共交通計画
令和 7 年度事業の評価・検証について
[令和 7 年 12 月末 暫定版]

1. 事業体系（事業一覧）と今年度の事業内容

施策体系／事業名	実施内容および結果
1. 広域幹線バスの運行	
①伊那本線の運行	伊那本線については今年度、南箕輪村としてとくに運行内容等の調整を図る事項はなく、過年度通りに運行されている。一方、長野県地域公共交通活性化協議会上伊那部会においては、伊那本線を上伊那地域における「幹線」として位置づけ、県の補助制度の適用を受けながら維持されていく方向性が打ち出されている。
②西箕輪線の運行支援	西箕輪線についても今年度、南箕輪村としてとくに運行内容等の調整を図る事項はなく、過年度通りに運行されている。費用負担の方法も過年度通りとなっている。
2. 地域内路線の運行	
①通学通院支援バスの運行	計画に位置づけた内容に則り、朝夕の通学の利便性を重視した具体的な運行計画を検討し、交通会議に諮り、承認された。令和 8 年 4 月より運行開始の予定である。運行事業者は伊那バス(株)で、現在手続きが進められている。
②通学通院支援バスの車両更新(補助)	通学通院支援バスについては、当面は現行のまっくんバスの車両 2 台を流用する。これらの車両を耐用年数まで使用し、必要となる車両の仕様などを検討し、更新する予定。
3. タクシー利用の支援	
①タクシー利用助成制度の実施	計画に位置づけた内容に則り、担当課である福祉課で改定案が検討された。具体的には、対象年齢層を広げ、年間の交付枚数も拡充された。改定案を交通会議に諮り、承認された。令和 8 年 4 月より新制度の運用を開始予定である。
4. 福祉施策の実施	
①福祉移送サービスの実施	これまで通りの運用方法を継続させるものとしているが、交通会議のなかでは、タクシー助成制度との棲み分けの必要性についての意見も出されており、引き続き検討していく。
5. 結節点の整備	
①北殿駅周辺の環境整備	令和 8 年度より運行する通学通院支援バスは、これまでのまっくんバス以上に、北殿駅での JR 飯田線との結節が重要となる。このため、環境整備を進めるものとしているが、バスの乗り入れ自体は可能であるため、当面は現行通りの運用をしながら、令和 8～9 年度にかけて具体的な整備案等を検討していく。
②伊那 IC バス停の環境整備	伊那 IC バス停は高速バスでの来訪者にとっての村の玄関口となるため、それに相応しい施設としていくことを掲げている。これについても令和 8～9 年度にかけて具体的な整備案等を検討していく。
③村役場バス停の環境整備	村役場バス停は、南箕輪村におけるターミナル的な役割を担う施設であり、待合い環境の向上などが求められている。これについては令和 8 年度内に対応策を検討し、できるだけ早い運用開始を目指す。

6. 利便性向上事業	
①年間定期券・回数券の発行	計画に位置づけた通り、定期券・回数券についての制度設計を行った。とくに通学定期券については、6ヶ月21,600円という割安な設定とした。この案を運賃協議会に諮り、承認された。
②運賃体系の調整	1. に示した2本の路線バス（伊那本線・西箕輪線）の運賃体系が異なることから、計画ではこの調整が掲げられている。伊那市に協調するかたちで進めるものとしているが、今年度については動きはない。
③キャッシュレスの導入	公共交通機関のキャッシュレス化の流れは、地方部でも進みつつあるため、計画では南箕輪村としても導入していくことを掲げている。長野県地域公共交通活性化協議会や同上伊那地域別部会でも、検討が進められているため、その動向も踏まえるものとするが、令和8年度の運行初年度においては、QRコード決済（PayPay）を導入する方向で調整中である。
④情報案内の高度化	令和8年度から運行を開始する通学通院支援バスについて、GTFSDデータ（=経路検索サービス等に関する国際標準フォーマット）を事務局で作成。これをGoogleトランジットに掲載予定。その他、スマートフォン向けの乗換案内情報サービスを展開する主要事業者にも掲載予定。
⑤公共交通案内パンフレットの作成	通学通院支援バスの案内パンフレットを現在作成中。3月の村広報に添付する予定。
7. 持続性向上・利用促進事業	
①高校進学時説明会の開催	高校への進学は公共交通を利用した生活を始める重要な機会となるため、進学前の中学3年生の3学期に説明会を開催することの効果大きい。今年度、南箕輪中学校で2/20(金)に、伊那養護学校で2/13(金)に説明会を開催予定である。
②高齢者説明会の開催	現行のまっくんバスが令和7年度で運休止、通学通院支援バスとタクシー助成制度を中心とした施策に切り替わるため、現行の利用者層に対しては、バス車内に案内を掲示し、説明会を開催するものとした。9/19(金)に村民センターにて実施したものの、参加者はいなかった。
③免許返納者へのタクシー助成券進呈	計画では、免許返納者へタクシー助成券を配布することを掲げていたが、施策内容としては、現行制度の要綱改定となったため、とくに免許返納者に対して個別の働きかけを行うものではなくなった。このため、通常通り、福祉課へ申請してもらうかたちとなるが、警察署の窓口においても、村の取り組みをお知らせするためのチラシを手渡してもらう方向で調整中である。
④モビリティ・マネジメント(MM)	計画では、自家用車に依存した交通行動を見直し、公共交通利用に転換させるための効果的な手法としてMMの導入を掲げている。これについては令和8年度以降に取り組むものとしている。
⑤村民の公共交通への意識向上	南箕輪村民は自家用車への依存が強いことから、計画では、④のMMも含めた啓発活動などを継続的に行っていくことが重要であると掲げている。今年度は通学通院支援バスの運行に先がけて、3月号の村広報に案内を掲載するとともに、チラシを挟み込む予定である。
⑥担い手の発掘	全国的に公共交通機関の運転手不足が深刻な状況が続いている。管内のバス事業者、タクシー事業者では、それぞれの業界団体や長野県の公的な支援制度などを活用しながら、担い手の確保が進められている。